



議決結果

5月臨時会（平成26年第3回 5月7日）

全会一致で議決した議案等

		結果	
市長提出議案	人事	阿賀野市教育委員会委員の任命について（岩村弘一氏） 田村仁氏の後任に、岩村弘一氏（新発田市川尻）を任命したい。	同意
	専決処分 （一部改正）	阿賀野市税条例の一部改正について 平成26年3月31日専決処分 居住用・特定居住用財産、阪神・淡路大震災に係る特例規定の削除、肉用牛の売却による事業所得課税の適用期限延長、公害・浸水防止用設備等に 係る特例措置へのわがまち特例の導入、耐震改修が行われた要安全確認計画記載建築物等に対する減額措置の創設、優良住宅地の造成等のために土地 等を譲渡した場合の課税特例の適用期限延長等の改正により規定を整備する。	承認
	予算 予補正	平成26年度阿賀野市一般会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ348万5千円を追加し総額221億2,948万5千円とする。形式変更や車両資材の高騰により消防ポンプ自動車購入費を増額。	可決
	その他	工事請負契約の締結について（水原中学校旧校舎等解体工事） 制限付き一般競争入札に付した上記工事について、帆布組・小管建設興業特定共同企業体と1億6,308万円で請負契約を締結する。	可決

意見が分かれた議案等（各議員の賛否一覧表）

議案	議員	会派															議決結果					
		公明党	日本共産党				新政クラブ		阿賀野クラブ					会派の所属なし								
	賛否	村上清彦	倉島良司	宮脇雅夫	稲毛明	山田早苗	佐竹政志	江口卓王	近山修	山崎正春	浅間信一	高橋幸信	石川恒夫	中島正昭	風間輝栄	遠藤智子	雪正文	山賀清一	市川英敏	天野美三男		
市長提出議案	専決処分 （一部改正）	阿賀野市国民健康保険税条例の一部改正について 平成26年3月31日専決処分 後期高齢者支援金に係る課税限度額を16万円（現行14万円）に、介護納付金課税額に係る課税限度額を14万円（現行12万円）に引き上げ、軽減措置 について、5割軽減判定所得の算定における被保険者の数に世帯主を含め、2割軽減判定所得の算定において被保険者数に乗すべき金額を45万円（現 行35万円）に引き上げる等の改正により規定を整備する。																				承認
	要討論	反対意見:現在の国保税でも負担限度額を超えているのに、後期高齢者支援金の課税限度額を16万円（現行14万円）、介護納付金の課税限度額を14 万円（現行12万円）に引き上げることは許されない。国負担を抜本的に増やし、国保税を大幅に軽減することこそ求められている。																				
		○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6月定例会（平成26年第4回 6月10日～20日）

意見が分かれた議案等（各議員の賛否一覧表）

議案	議員	会派															議決結果					
		公明党	日本共産党				新政クラブ		阿賀野クラブ					会派の所属なし								
	賛否	村上清彦	倉島良司	宮脇雅夫	稲毛明	山田早苗	佐竹政志	江口卓王	近山修	山崎正春	浅間信一	高橋幸信	石川恒夫	中島正昭	風間輝栄	遠藤智子	雪正文	山賀清一	市川英敏	天野美三男		
請願	討論(要)	集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書の提出を求める請願 集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書を国の関係機関に提出してほしい。																				採択
	討論(要)	賛成意見:集団的自衛権は、自国への攻撃が無くても、同盟国が行う戦争に参加することで、日本の若者が戦争で血を流すことになる。行使を容認する ことは緊張を助長することになる。外交問題は、9条の理念に沿って平和的に話し合いで解決すべきで、安倍政権の危険な目論見をやめさせるた めに議会の総意として国にあげていただきたい。 反対意見:集団的自衛権の議論は、国民一人ひとりに関わる現実的な問題である。特に北朝鮮の日本人拉致問題やミサイル問題など日本を取り巻く 安全保障環境は大きな変化をきたし、いかなる事態が起きても国民の命と暮らしを絶対に守らなければならないことが国の責務であると同時に基本 的な原理原則であると確信している。以上のことから今回の意見書は馴染まないと思い反対する。																				
請願	討論(要)	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める請願 解雇の金銭解決制度、限定正社員制度やホワイトカラー・イグゼンプションの導入を行わず、派遣労働者の安定した直接雇用に向けた法改正など、労働 者保護を求める意見書を国会及び政府に提出してほしい。																				採択
	討論(要)	賛成意見:安倍内閣は1日8時間・週40時間の労働時間の規制を外す制度を導入し、時間ではなく経営者が成果で評価するとしている。成果を上げる ために労働者は際限なく働かされる。年収1,000万円以上を対象としているが、経団連は400万円以上を要求している。この制度導入案の審議会 には労働者の代表も入っていない。 反対意見:政府の成長戦略は、企業の労・使、共に繁栄を願うもの。一方的に反対で『改悪』とは勝手だ。どこの企業側（経営者）も雇用者を評価 するのは当然のこと。「年収1,000万以上の労働者の残業は認めない。」は、それ以下は従来どおり。また、就業時間内に効果を上げられるよう努 力することが大切だ。																				
意見書		集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書の提出について 集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書を国の関係機関に提出する。																				可決
		労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の提出について 労働者保護ルール改悪反対を求める意見書を国会及び政府に提出する。																				可決

全会一致で議決した議案等

		結果	
市長提出議案	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（小野敏氏） 任期満了に伴い、小野敏氏（百津町）を再任し、法務大臣に推薦したい。	適任
	専決 予補正	平成26年度阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 平成26年5月23日専決処分 歳入歳出それぞれ840万円を追加し総額を45億1,299万4千円とする。平成25年度会計が歳入不足となることから前年度繰上充用金を増額。	承認
	予算 補正 予算	平成26年度阿賀野市一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ4,408万7千円を減額し総額220億8,539万8千円とする。市の少子化問題に対して行政・市民・企業等の力を融合して、子どもの 育成支援の充実を目指すまちぐるみ少子化対策事業費562万5千円、市民生活に身近な環境整備と市内中小建設業者の受注機会の確保のため生活環境 整備事業費7,500万円、風しん予防接種に助成し、安心して出産できる環境を整えるため予防費90万円、水原郷病院医師等の参加を通じて、市民との 接点を形成するため市民講座医師謝礼8万9千円、ふるさと納税制度の寄附促進や地元特産品のPRを推進するため、新たにインターネットで寄附申 込みやクレジット決済申込みを行うことができるサービス費28万4千円等を増額。	可決
		平成26年度阿賀野市病院事業会計補正予算（第1号） 収益的収支の収入を2,287万1千円を増額し総額8億601万4千円とする。支出を2,287万1千円を増額し総額5億1,171万7千円とする。民営化以 前に受けた治療等に対する損害賠償請求事件に係る和解金2,200万円、弁護士事務委任報酬87万1千円を増額。	可決